



東ちづるさん



池田直樹さん



上野谷加代子さん



織作峰子さん



梶原千沙都さん



草間吉夫さん



竹中ナミさん



村木厚子さん

私たちは「れもんしんぼう」を応援します

# 檸檬新報

第3号 2018年3月7日(水)

題字 野瀬 晴風

印刷 株式会社 日章印刷所 TEL 06-6306-0481  
DTP 胡 通香

れもんしんぼう

季刊紙

定価 1部 300円

## 昇り龍の ナミねえライブ

チャレンジド(挑戦するチャンスを神様から与えられた人々＝障害者)をタックスペイヤー(納税者)に、という理念を掲げて東奔西走する竹中ナミさん。社会福祉法人「プロップステーション」の理事長という肩書なのだが、どんなときでも、愛称の「ナミねえ」で貫き通している。

昨年12月7日。神戸・新長田で「ナミねえ & ゆうカルテット・ライブ in 神戸新長田」が開かれた(写真)。なんでも足の半月板を損傷したとかで、ステージに現れたナミねえは、ステッキを使い、時おり椅子に座って熱唱した。

あの阪神淡路大震災(1995年1月)から少しずつ、復興・再生の道を歩いてきた新長田。地元のみなさんの労をねぎらいながら、「震災で、私の家も丸焼けになりました」と、自らの被災体験にもふれた。

「10いくつか事故があるのが、ナミねえライブ。でもきょうは、いつもより落ち着いているかな…」とナミねえ。

事故というのは、歌いだしのタイミングを間違ったりすることなどを指すらしい。

それも愛嬌と、その時は思っていたが、「ナミねえがNHKのジャズライブ KOBEで歌っていたよ」の一報が入ってきた時には、驚いた。今年1月19日の金曜日夜のこと。でも、杞憂だった。ナミねえは、ムードたつぷりに堂々と歌い上げていたという。

「弱者に福祉をしてあげる国」から「弱者を一人でも弱者でなくして行くプロセスを福祉と呼ぶ国」にしたい…ナミねえのそんな揺るぎない信念が、国や社会を動かしてきた。

ライブが「昇り龍」のように勢いづくのも、プロとか素人とかいう領域を超えたところに広がる、ナミねえの人間力ゆえの輝きなのだろう。

(編集長 平田篤州)



### 編集後記

ヴォルドルフ人形は、オーストリアの哲学者、ルドルフ・シュタイナーが提唱した「シュタイナー教育」から生まれた、抱き人形です。

羊毛や天然素材を使って、一針一針、丁寧に作ります。手作りの人形は、子どもにとって大切な存在となり、それが子どもの心の教育に役立つと、シュタイナーは説いています。

「人形は、ときに子どもにとって、心の中の喜びや悲しみ、またはファンタジーを共有する仲間として大きな部分を占めている」と著書で綴ったのは、スウェーデンのカーリン・ノイシュッツでした。

五輪のニュース(5面)は、このヴォルドルフ人形を擬人化してお伝えしました。冷徹な現実とは違うかもしれませんが、政治色のない、「子どものまなざし」を大切にしたい。唐突ですが、そんな思いも込めて綴りました。(篤)

【おことわり】 冬季五輪の全容を入れるために、発行日が3月になりました。

## 賛助会員を募集します

一般会員 一口 年間3000円

- ・発行ごとに1部を郵送します。
- ・毎年1月には、特典として社会福祉士をテーマにした新聞「つなぎびと」を郵送します。

一般会員 一口 年間1万円

- ・発行ごとに3部を郵送します。
- ・毎年1月には、特典として社会福祉士をテーマにした新聞「つなぎびと」を3部郵送します。

特別会員 一口 年間40万円

- ・活動などを取材して記事にし、毎回、1ページを使って紹介します。
- ・二口180万円の賛助であれば、毎回、見聞き2ページで紹介します。
- ・発行ごとに、希望部数(300部まで)を無料でお届けします。
- ・毎年1月には、新聞「つなぎびと」を希望部数(300部まで)分、送ります。

お申込み・問い合わせ

賛助金の郵便振替口座 00980-9-236995(口座名 一般社団法人檸檬新報会)

※ご協力いただいた方の氏名は原則、紙面に掲載させていただきます

檸檬新報会 TEL:06-6226-5596(担当・今西)